

| 科目番号         | 教室         | 登録人数 | 履修登録方法           |
|--------------|------------|------|------------------|
| 学共113        | [木3]共3-104 | 15   | 抽選対象             |
| 開講年度         | 期間         | 曜日時限 | 開講学部等            |
| 2025         | 後学期        | 木3   | 国際地域創造学部国際地域創造学科 |
| 講義コード        | 科目名[英文名]   | 単位数  |                  |
| g00012002    | 英米文学概論     | 2    |                  |
| 担当教員[ローマ字表記] |            |      |                  |
| 加瀬 保子        |            |      |                  |

#### 授業の形態

講義

#### アクティブラーニング

学生が議論する、学生が文献や資料を調べる

#### 授業内容と方法

この講義（対面授業）（後期：木3）では英語圏の歴史・文化を背景とする作品を題材に、文学と文化理解の基礎を学びます。英米文学・文化を専門とする教員（6人）が、2回または3回の講義を担当し、文学・文化を考える為の様々な作品を紹介します。各講義回では作品を精読したり、グループディスカッションをしたりしながら、多角的視点で作品・文化理解を深め、自らの意見や解釈を表現できるように練習します。

#### URGCC学習教育目標

自律性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、専門性

#### 達成目標

1. 英米の文学・文化を学ぶ為の基礎的知識を習得し、歴史・文化的文脈を踏まえて作品や事象を説明することができる。[地域・国際性][自立性]
2. 文学作品や文化的事象について資料を踏まえて自らの解釈を説明することができる。[情報リテラシー][コミュニケーション・スキル]
3. 自らの文学のあるいは文化研究的解釈を論理的文章で説明することができる。[専門性]

#### 評価基準と評価方法

1レスポンスペーパー（40%）：各講義回で出される課題（作品・資料）を読み、レスポンスペーパーをWeb Classから提出してください。日本語（300字から400字程度）あるいは英語（150~250words）で書くよう各回の担当教員が指示しますので指示に従ってください。本課題では、受講生が講義課題を予習し学習内容の事前理解を促すとともに、授業のディスカッションやグループワークに備えてもらうことを目的にしています。ただし担当回によっては講義後の課題として課される場合もあります。担当教員の担当回によって、講義前に提出期限が設定される場合と講義後に期限が設定される場合がありますので、その都度担当教員の指示とWebClassの提出期限を確認し、提出遅延の無いように気をつけてください。提出期限に遅れたレスポンスペーパーは講義担当教員にメールなどで送られても基本的に採点されません。（達成目標1,2,3）  
 2 グループディスカッションや質疑応答（10%）：予め与えられた課題（作品・資料）内容を踏まえ、講義では他の受講生と意見交換や討議で自らの意見を共有したり参考にしながら、文学・文化理解を深めていきます。（達成目標1,2）  
 3. 最終試験（50パーセント）：各担当者から論述形式の問題を出しますので、その中から3題選択しレポートを作成しWebClass上で提出してもらいます。日本語のレポートの場合は800字から1000字程度、英語のレポートの場合は400wordsから500words程度の分量となります。最終試験の提出期限に遅れた場合は採点されませんのでご注意ください。（達成目標3）

#### 履修条件

特になし

#### 授業計画

- 第1週 (10/2) 加瀬保子 イントロダクション  
 第2週 (10/9) 加瀬保子 「アメリカの文学と医学 (1)」  
 第3週(10/16) 加瀬保子 「アメリカの文学と医学 (2)」  
 第4週(10/23) 加瀬保子 「アメリカの文学と医学 (3)」

第5週(10/30)山城新 「アメリカ文化と自然(1)」  
第6週(11/13)山城新 「アメリカ文化と自然(2)」  
第7週(11/20)小林正臣 「アメリカ文学における愛(1)」  
第8週(11/27)小林正臣 「アメリカ文学における愛(2)」  
第9週(12/4) 山里絹子 「トランスナショナル社会とアメリカ文化(1)」  
第10週(12/11)山里絹子 「トランスナショナル社会とアメリカ文化(2)」  
第11週(12/18) Sylwia Dobkowska 「イギリス演劇(1)」  
第12週(1/8) Sylwia Dobkowska 「イギリス演劇(2)」  
第13週(1/15) 長堂まどか 「ジャンルから見るイギリスの歴史と社会(1)」  
第14週(1/22) 長堂まどか 「ジャンルから見るイギリスの歴史と社会(2)」  
第15週(1/29):加瀬保子 授業のまとめと最終試験の案内、最終試験のWebClass公開

#### ■ 事前学習

講義で学んだことを踏まえて、与えられた課題を終わらせる。

#### ■ 事後学習

課題に取り組みながら、講義で学んだことを振り返る。

#### ■ 教科書にかかわる情報

| 教科書 | 書名  | N/A | ISBN |  | 備考 |
|-----|-----|-----|------|--|----|
|     | 著者名 |     |      |  |    |
|     | 出版社 |     |      |  |    |

#### ■ 教科書全体備考

各担当教員が資料を準備し、WebClassで配布する。

#### ■ 参考書にかかわる情報

| 参考書 | 書名  | N/A | ISBN |  | 備考 |
|-----|-----|-----|------|--|----|
|     | 著者名 |     |      |  |    |
|     | 出版社 |     |      |  |    |

#### ■ 参考書全体備考

各担当教員が適宜紹介する。

#### ■ 使用言語

日本語

#### ■ メッセージ

使用言語は基本的に日本語ですが、教員によっては英語で行う場合もあります。

#### ■ オフィスアワー

By Appointment

#### ■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

#### ■ URL

